

◎ロルファン注射液 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 レバルロファン酒石酸塩 levallorphan tartrate 【分類】 麻薬拮抗剤

【単位】 ◎1mg/A [0.1% 1mL]

【常用量】 麻薬の種類に応じて用量設定 [モルヒネの場合、モルヒネ 15mg に対してレバルロファン酒石酸塩 0.3mg (50 : 1)]

【用法】 皮下注、筋注、静注

【透析患者への投与方法】 減量する必要性はないと思われるが透析患者の投与方法に言及した文献なし (5)

【保存期腎不全患者への投与方法】 減量する必要性はないと思われるが腎不全患者の投与方法に言及した文献なし (5)

【特徴】 適量でオピオイドの鎮痛作用にほとんど影響せず、オピオイドによる呼吸抑制作用を速やかに消失させる。投与後 1 分ぐらいで作用発現し 2~5hr 持続する。

【主な副作用・毒性】 呼吸抑制、幻視、もうろう状態、見当識障害、縮瞳、めまい、傾眠、悪心・嘔吐、四肢重圧感など

【代謝】 肝で代謝される (1)

【排泄】 尿中回収率 14% (代謝物およびその抱合体が主で、未変化体は 5%) (ラット) (1)

【蛋白結合率】 データなし (1)

【Vd】 データなし (1)

【MW】 433.49

【透析性】 おそらく組織移行性が高いため、除去されにくいと思われる (5)

【TDM のポイント】 TDM の対象にならない 【pKa】 4.5, 6.9 (1) 【OW 係数】 資料なし (1)

【備考】 オピオイドアゴニストによる軽症の呼吸抑制又はペンタゾシンによる呼吸抑制 (増悪することがある) には無効である。またオピオイドによることが明らかでない呼吸抑制には使用しない。

【更新日】 20151207

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。